

9 月 定例記者会見 市長あいさつ

皆さま、こんにちは。

取手市は、今年 10 月 1 日に、市制施行 55 周年を迎えます。

昭和 45 年に取手町から取手市へと移行し、また平成 17 年には藤代町との合併を果たして、市民の皆さまとともに歩みを進めてまいりました。

この記念すべき節目の年を迎えられるのも、ひとえに市民の皆さまの温かいご支援と、地域を支えてくださる多くの方々のご尽力の賜物であることを深く感謝申し上げます。

55 周年という節目は、これまでの歩みを振り返るとともに、未来への新たな一步を踏み出す重要な機会でもございます。

「住み続けるほど好きになる街をつくる」という思いのもと、取手市をより魅力的で住みやすい街にするため、取手駅西口 A 街区の再開発や、桑原地区の整備など、未来の取手市を形作る重要な事業の推進をはじめ、デジタル化の推進として、「スマホ市役所」を今年度本格稼働に向けて進めているところでございます。

これから先、10 年、20 年、50 年と、市民の皆さま

が「住み続けたい」と感じる魅力あふれる取手市を目指すため、さらに活気に満ちた、誰もが誇りに思える街へと成長できるよう、全力を尽くしていきたいと考えております。

それでは、本日の発表事項に移ります。

はじめに、「伐採した思い出の桜の木を世界に一つだけの作品に。東京藝術大学教員と白山小学校児童との共同制作品を展示」についてです。

白山小学校の大規模工事を行うにあたり、校庭のシンボルとして長年親しまれてきた桜の木を、やむなく令和6年4月に伐採をいたしました。

この桜の木の思い出を形に残すために、東京藝術大学の教員と白山小学校の児童たちが、ワークショップを通じて作品制作を行いました。

今回の企画では、児童たちが制作した作品だけではなく、東京藝術大学の教員や学生、ゲストアーティストによる作品も展示され、芸術と地域のつながりを感じられるものとなっております。

この取り組みは、地域の歴史や思い出を未来へつなぐ貴重な機会となっておりますので、ぜひ多くの皆さまに足を運んでいただき、桜の木が新たな形で生まれ変わった姿をご覧くださいと思います。

次に、「初心者向け写真講座&インスタ講座開催」についてです。

近年のスマートフォンの普及により、手軽に写真を撮影し、SNSで情報を発信することが日常的なものとなりましたが、写真の撮り方やSNSの活用に慣れていない方も多くいらっしゃいます。

そこで、スマートフォンでの写真撮影のこつを学ぶ「スマホ写真講座」と、インスタグラムを利用した情報発信力を磨く「インスタ発信講座」を、初心者の方向けに開催をいたします。

この講座をきっかけに、市民の皆さまが、取手市の美しい風景や歴史などの地域の魅力を、写真を通じて発信することで、郷土愛を育み、また、より多くの方に取手市の魅力を知っていただけることを期待しております。

以上で、私からの説明を終わります。